

# ガス機器部品を中心に 工具を工夫し精密加工

納期相談  
コスト相談  
メイドイン  
ジャパン  
試作可  
小ロット  
量産対応



高精度の加工を支える従業員たち

## 業務内容 真ちゅうに特化し 加工ノウハウを蓄積

昭和48年の創業から手がけてきたガス機器部品を中心に、農機具、消火器、水道向けの金属部品の精密加工を幅広く請け負う。特にガス機器部品のニードルやノズルでは、最小で0.3mmの小径穴あけや外径寸法公差±0.005mmの切削など高精度な加工に定評があり、同社の品質に対する顧客からの信頼は厚い。加工素材を真ちゅうに特化することで、専門性の高い加工ノウハウを蓄積するほか、切粉や端材の回収もしやすいため90%以上の高いリサイクル率を誇っている。

## 強み 独自製作の段ドリルで 工程省き生産性高める

もともとは会社を創業した先代社長である森本勝也氏が切削工具の研磨を得意とし、その技術や工具の管理手法を受け継いできた。穴あけや面取りなどの2〜4工程の作業を1本の工具で行える「段ドリル」を独自製作して多用することで、段取り替えなどの手間を省略し生産性向上につなげている。森本昌宇社長は「真ちゅうは金属の中でも比較的柔らかいので、工具のちよつとした切れ味の変化が製品の仕上がりを左右する。刃物の変化を感じ取れば、すぐに研ぎ直している」とし、きめ細かな対応が高品質の製品づくりを支えている。

## 品質向上 職場環境整え品質向上へ

自社で自動装置に工夫を加えることにより、無人稼働で24時間操業を実現。生産効率や収益を追求する目的もあるが、従業員の残業を減らすなど働きやすい環境整備

にも目を向けて取り組んでいる。今後の人手不足を見越して、技術ノウハウのマニュアル化にも着手。現場での実例や作業者の声を反映させるため、従業員主体で編纂作業を進める。森本社長は「自動装置により残業を抑えてプライベートな時間を充実させることができ、人の手が必要な刃物や生産設備の管理も徹底していくことができる。自主性を尊重することが品質向上にもつながる」と、従業員の意識を高めることによるメリットを強調する。

## 今後の展望 メイドインジャパンの 美しさを世界に発信

森本社長は切削加工が施された真ちゅう製品の美しさに魅かれて、義父である勝也氏が経営する同社に入社。その後は義父の持つ技術を身に付けたい一心で仕事に打ち込んだという。

今後はこれまで長年培ってきた加工技術を生かし、鉄やステンレス、難削材、樹脂といった真ちゅう以外のさまざまな素材への切削加工を目指す。さらに、オリジナルの製品や部品開発にもチャレンジしていく考えだ。森本社長は「日本のものづくり現場から技術や品質の高さ、製品の美しさを世界に発信していきたい」と、さらなる部品開発や製作に意欲を燃やす。



加工機が並ぶ工場の風景



さまざまな切削刃具

## 当社の歴史



昭和48年、先代の森本勝也が大阪市東成区で創業したのが当社の始まりです。同62年に現住所へ移転するとともに法人化しました。将来的には、「他社に加工を断られた製品でも、大輝製作所に持ち込めば何とかしてくれる」と言われるような存在になりたいと考えています。

代表取締役 森本 昌宇さん

<http://daikimachinery.wixsite.com/daiki/>

### 主な事業内容

ガス機器、農機具、水道、消火器、弱電部品の切削加工

### 主な取引先(納入先)

ガス機器メーカー、農機具・水道部品メーカー、各商社

### 住所

〒581-0029  
八尾市  
東弓削3-116

TEL 072-948-3618  
FAX 072-948-2878  
創業 昭和48年3月  
設立 昭和62年4月  
資本金 1,000万円  
従業員 15名

ISO 9001